



ほけんだより 8月号

令和7年7月31日
北保育園

8月7日の立秋を迎えるとようやく暑さの折り返し地点と言いたいところですが、真夏の日差しとジリジリとした暑さは、もうしばらくお付き合いが続きそうです。暑さに負けない身体づくりをするためには、しっかりと食事を摂り免疫力を低下させないよう生活リズムにも気をつけていきましょう。

発熱のメカニズム：熱中症と風邪の違い

熱中症と風邪、ともによく見られる症状の一つに体温上昇がありますが、その違いは、原因とメカニズムにあります。どちらの場合も 意識障害や40℃を越す異常な高熱がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

～熱中症の場合～

熱中症は、外部環境の暑さによって体温調節機能が乱れ、体内に熱がこもることで発生します。重症化すると40℃以上の高熱になることもあり、汗をかき機能が失われるため、体温が下がらず 生命の危険 につながる可能性があります。

《見分け方のポイント》

- ・暑い環境下で発症しやすく、全身が熱くなり、めまい、倦怠感、意識障害を伴うことがある。
- ・涼しい場所へ移動し、首や脇の下を冷やす。

～風邪の場合～

発熱は、風邪や感染症などの病原体に対する免疫反応によって起こります。ウイルスを撃退するために体温を上げる仕組みであり、脳が設定した以上の体温にまで上昇することは通常ありません。

《見分け方のポイント》

- ・手足が冷たくなることがある。
- ・鼻水・喉の痛み・咳などの症状を伴うことが多い。
- ↳寒気がある間は温める。

夏の肌トラブルにご注意!!

虫刺され以外にも『あせも』や『とびひ』など夏におきやすいトラブルがあります。ケアとしては、お風呂に入るなど皮膚を清潔に保つことが一番です。

肌トラブルを防ぐために…

- ◎爪を短く切る
- ◎冷やす、かゆみ止めを塗る
- ◎治りが遅いなどの時には受診を

【7月の感染症】

伝染性膿痂疹	2名
伝染性紅斑	1名
溶連菌感染症	2名
アデノウイルス感染症	1名
ウイルス性胃腸炎	1名
突発性発疹	1名

* その他熱や咳でお休みするお子さまが多かったです。

【8月の予定】

5(火)	身体測定	(幼児)
6(水)	身体測定	(乳児)
19(火)	0歳児健診	